

動物用医薬品

(要指)

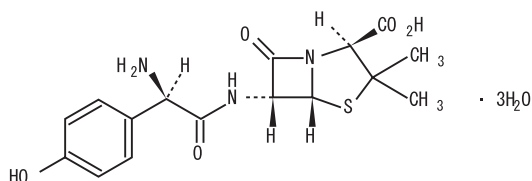
アモキシシリン10%可溶散「明治」

一般的名称：アモキシシリン散

アモキシシリン10%可溶散「明治」は、ペナム系抗生物質アモキシシリンを10%含有する水に可溶性の白色散剤である。各種のグラム陽性菌・グラム陰性菌に対する殺菌力、経口摂取後の吸収性および病巣組織への移行性に優れている。

成分及び分量

本品1g中、日局アモキシシリン水和物100mg (力価)含有。



一般名：アモキシシリン水和物、アモキシシリン、Amoxicillin Hydrate
 化学名：(2S, 4R, 6R)-6-[(R)-2-Amino-2-(4-hydroxyphenyl)-acetamino]-3, 3-dimethyl-7-oxo-4-thia-1-azabicyclo[3.2.0]heptane-2-carboxylic acid trihydrate

効能又は効果

〔有効菌種〕

ブドウ球菌、連鎖球菌、ボルデテラ、パストレラ、大腸菌、ヘモフィルス、アクチノバシラス プルロニューモニエ

〔適応症〕

牛：肺炎、大腸菌による下痢症
 豚：肺炎、大腸菌による下痢症
 鶏：大腸菌症

用法及び用量

体重1kg当たり、アモキシシリンとして下記の量を飲水に溶かすか、あるいは飼料に混合して1日に1～2回経口投与する。

動物	アモキシシリンとして1日量	アモキシシリン10%可溶散「明治」として1日量
牛(生後5月を超えるものを除く。)		
肺炎	3～10mg (力価)	0.03～0.1g
大腸菌による下痢症	5～10mg (力価)	0.05～0.1g
豚	3～10mg (力価)	0.03～0.1g
鶏(産卵鶏を除く。)	10～50mg (力価)	0.1～0.5g

※本剤を添加する場合は次表を参考にしてください。

レイヤー育成鶏		
週齢 (W)	体重 (g)	アモキシシリン10%可溶散「明治」1,000羽1日量
1	60	12g
3	160	32g
5	370	74g
7	580	116g
9	770	154g
11	930	186g
13	1060	212g
15	1185	237g
17	1275	255g
19	1365	273g

(アモキシシリンとして20mg力価/体重1kg投与の時)

ブロイラー		
週齢 (W)	体重 (g)	アモキシシリン10%可溶散「明治」1,000羽1日量
初生	40	8g
1	130	26g
2	330	66g
3	620	124g
4	980	196g
5	1380	276g
6	1790	358g
7	2200	440g
8	2600	520g
9	3000	600g

(アモキシシリンとして20mg力価/体重1kg投与の時)

豚		
日齢 (日)	体重 (kg)	アモキシシリン10%可溶散「明治」10頭1日量
生時	1	1g
7	2	2g
14	4	4g
21	6	6g
30	8	8g
45	14	14g
60	22	22g
75	31	31g
90	41	41g
120	65	65g
150	90	90g
180	115	115g

(アモキシシリンとして10mg力価/体重1kg投与の時)

(裏面に続く)

牛		
月齢 (月)	体重 (kg)	アモキシシリン 10%可溶散「明治」 1頭1日量
生時	40	4g
1	60	6g
2	80	8g
3	100	10g
4	120	12g

(アモキシシリンとして10mg力価/体重1kg投与の時)

使用上の注意

【一般的注意】

- (1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
- (2) 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療のみ使用すること。なお、本剤はペニシリンアゼ産生菌には通常奏効しないので、この場合は他の薬剤を使用すること。
- (3) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (4) 本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めることとし、週余にわたる連続投与は行わないこと。
- (5) 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

【使用者に対する注意】

- (1) 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- (2) 飼料等に混合する際は、マスク等を着用し、粉じん等を吸い込まないように注意すること。
- (3) 本剤はβ-ラクタム系の抗生物質であるので、同系薬に対し過敏症の既往歴がある方は使用しないこと。
- (4) 過敏症反応を含め、使用者の身体に何らかの異常が認められた場合には、ただちに使用を中止し、すぐに医師の診察を受けること。

【対象動物に対する注意】

1 制限事項

- (1) 本剤は産卵鶏(食用に供するために出荷する卵を産卵している鶏をいう。)には投与しないこと。
- (2) 本剤は生後5ヵ月を超える牛には投与しないこと。
- (3) 本剤はβ-ラクタム系の抗生物質であるので、同系薬(ペニシリン等)に対する過敏症の有無を調べ、陽性動物や既往歴のある動物には使用しないこと。

2 副作用

- (1) 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (2) 過敏症反応(ショック、発熱、発疹、蕁麻疹等)があらわれた場合は、ただちに投与を中止し、すぐに獣医師にかかること。強心剤、気管拡張剤、昇圧剤、抗ヒスタミン剤やコーチゾン等の投与及び輸液、人工呼吸等、症状に応じた適切な処置を行うこと。

【取扱い上の注意】

- (1) 飲水投与の場合は用時調製し、よく攪拌してから経口投与すること。
- (2) 本剤を飲水投与する場合、本剤の賦形剤が飲水中に存在するカビ等の栄養源となり、給水パイプ等の詰まりの原因になる恐れがあるので、投薬は短時間(2~3時間)で行い、投薬後は速やかに清水を流すこと。また、薬剤投与に用いたタンクも十分に掃除すること。
- (3) 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (4) 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

【保管上の注意】

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。使用後は密封して保存すること。

貯蔵方法

気密容器

有効期間

3年

注意 - 獣医師等の処方せん・指示により使用すること

注意 - 使用基準の定めるところにより使用すること

注意：本剤は薬事法第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、牛(生後5月を超えるものを除く。)、豚、鶏(産卵鶏を除く。)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

牛(生後5月を超えるものを除く。):

食用に供するためにと殺する前10日間

豚：食用に供するためにと殺する前5日間

鶏(産卵鶏を除く。):

食用に供するためにと殺する前5日間

包装

要指 アモキシシリン10%可溶散「明治」…

1kg

5kg

販売元

meiji Meiji Seika ファルマ株式会社
東京都中央区京橋 2-4-16

製造販売元



株式会社 科学飼料研究所
東京都中央区築地一丁目12番6号